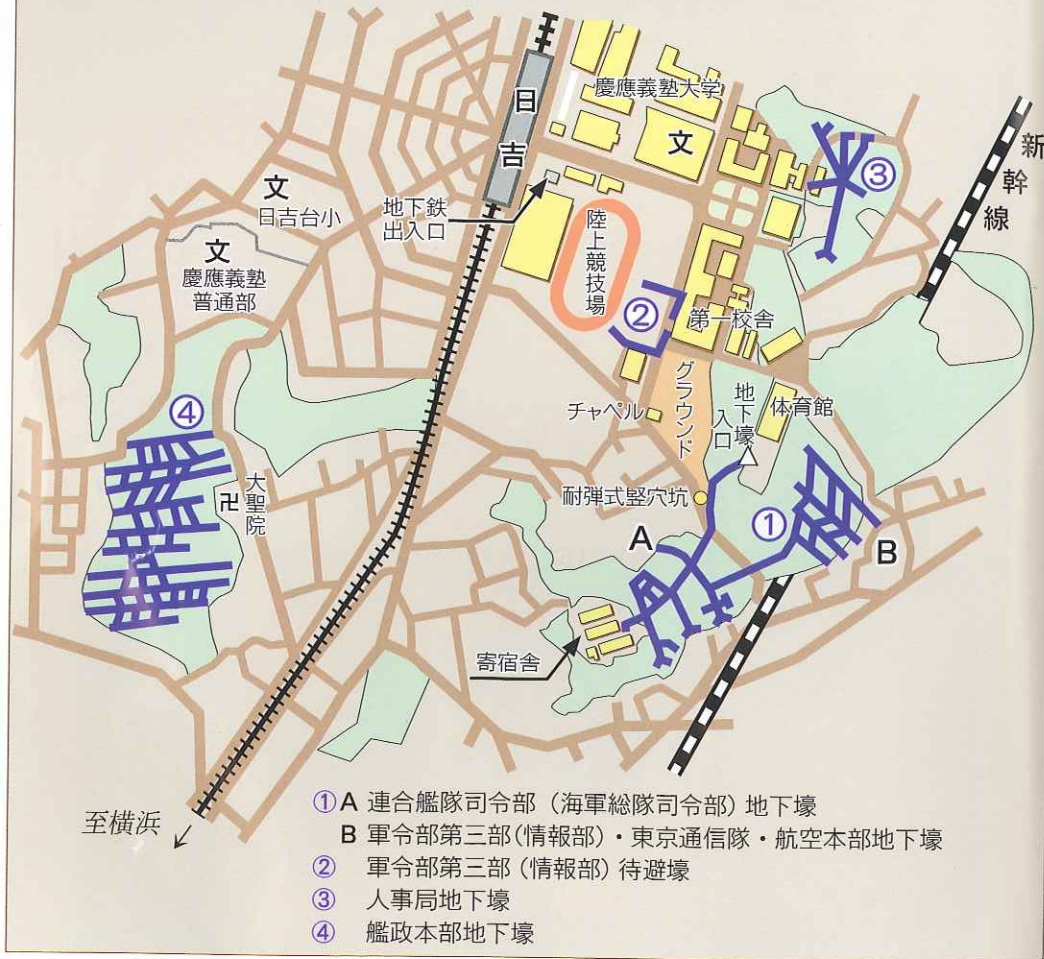


日吉台地下壕配置図



戦争遺跡とは

戦争遺跡とは、一般的に「戦争遂行過程で戦闘や事件の加害・被害・反戦抵抗に関わって国内外で形成され、且つ現在に残された構造物・遺構や跡地のこと」と言われています。アジア太平洋戦争に関する日本国内の戦争遺跡だけでも十数万を超える遺跡・遺構があると推定されていますが、敗戦から64年たち、戦争の語り部である直接戦争体験者が年々少なくなっていくなかで、戦争の傷跡を残すこの戦争遺跡は、「戦争の実相を知る」貴重な存在で、①歴史研究の資料、②歴史教育・生涯学習の教材、③平和学習の物証・平和の語り部です。日吉台地下壕はアジア太平洋戦争を伝える貴重な戦争遺跡です。

広島の実験ドームは、人類史上最初の原子爆弾による被爆の惨禍を伝える歴史の証人として、また核兵器廃絶の恒久平和を求めるシンボルとして1996年12月5日にユネスコ世界遺産に登録されました。

学び・調べ・考えよう
 フィールドワーク

日吉・帝国海軍 大地下壕

監修 慶應義塾大学名誉教授 白井 厚
 日吉台地下壕保存の会 編



平和文化